



筑波大学エクステンションプログラム グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座を開催しました

2016年7月9日(土)、14日(木)、16日(土)、23日(土)に、筑波大学東京キャンパス文京校舎で開催されました「筑波大学グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座」は、受講生26名にご参加いただき、無事に終了いたしました。医薬品・医療機器業界のみならず、大学関係、商社、ベンチャーキャピタル、独立行政法人、行政など多岐にわたる分野からご参加いただき厚く御礼申し上げます。

本講座は、講義と実際の審査報告書を用いたグループワークを組み合わせた実践型であり、グループ活動促進のため、専門知識・実務知識を有するファシリテーター・チューターがサポートを提供し、医薬品・医療機器におけるグローバル展開を見据えたイノベーションをマネジメントできる知識と技量を学びました。

● 講座の様子

午前中の講義では、積極的な質問の手が上がり、インタラクティブな講義になりました。特に、特別基調講演などでは、講義の休憩中に質問票がどっと集まり、座長のうれしい悲鳴の中とても深い内容になりました。



7月9日の講義は、臨床開発に必要な治験に関する
こと、医療機器の研究開発の戦略と、基本的知識や
開発戦略について学びました。

左) 筑波大学つくば臨床医学研究開発機構長・荒川義弘先生
右) 一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会 専務理事・
三澤裕氏



7月14日の特別基調講演は、ご自身の豊富な研究
開発の経験を踏まえながら、グローバルに行う医薬品
開発のグッドプラクティスの創出について、幅広い視点
で講演をしていただきました。

左) 協和発酵キリン株式会社 代表取締役社長・花井陳雄氏



7月16日の講義は、グローバルに視点を置いた、グ
ローバル企業の国際経営戦略とリーダーの人材育成、
医薬品のグローバルにおける研究開発戦略の実際を
学びました。

左) 筑波大学副学長(国際担当)・ビジネス科学研究科教授・
ベントン・キャロライン・ファーン先生
右) 株式会社レクメド 代表取締役社長・松本正氏



7月23日の講義は、製薬産業が実際にどのようにグ
ローバルな事業展開をしているかを、実際の企業活
動を通じてグローバルな視点から学びました。

イーザイ株式会社 代表執行役(医療政策等担当)・土屋裕氏

● グループワークとプレゼンテーションの様子

午後のグループワークは、講義や特別基調講演を受け、実際の医療機器や医薬品の開発を題材に5人程度の5グループに分けて行いました。受講生の方々が様々な業界等から参加していることの強みを生かして、多様な視点から意見交換し、課題に取り組んでいました。

少し高度な内容かな？と事務局側では内心心配していましたが、いざ始めると、ホワイトボードいっぱいに議論を展開し、模造紙に顔つけあわせグループの回答を書き込んでいました。



グループワークの様子



5分でプレゼンテーション。ピッチコンテストのような緊張が走る中、次々と発表。ほかのグループやファシリテーター・チューターからの質問や意見で、新しい気付きが次々と生まれていきました。

つくば臨床医学研究開発機構では、学内他部署や附属病院とも連携しながら、臨床開発に関する教育や研修の機会を今後も構築してまいりますので、ぜひご参加ください。

今回の筑波大学エクステンションプログラムは、社会貢献の1つの形として、本学の高度で先駆的な研究・教育分野から得られた成果をいち早く社会に還元し、皆様に見える形でお届けすることを目的としています。他に例を見ない学際的な融合により生み出された最先端の学問を、それを基盤とした社会還元を目的としたプログラムを通じて、直接感じていただければ幸いです。

● 集合写真

